

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	初級英会話Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>英語での日常のやり取りができることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスニング力を養い、日常行われる質問を聞き取れることを目標とする。 ・スピーキング力を養い、日常生活レベルの質問対し、応答できるようになることを目標とする。 ・異文化の文化的背景にも親しむ。異文化の多様性に寛容になることを目指す。 						
日程と内容	<p>第1回 オリエンテーション&summer report in English 第2回 Unit 6 Buying & Selling 第3回 Unit 6 Buying & Selling 第4回 Unit 7 Weather 第5回 Unit 7 Weather 第6回 Unit 8 Mysteries 第7回 Unit 8 Mysteries 第8回 Review 1 第9回 Unit 9 Education 第10回 Unit 9 Education & Presentation 第11回 Unit 9 Education & Presentation 第12回 Unit10 Water & Presentation 第13回 Unit10 Water & Presentation 第14回 Unit10 Water & Presentation 第15回 Review 2 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験		40%	実技			
	臨時試験		20%	部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題		10%	ミニテスト・積極的参加		30%	
	演習			計		100%	
授業到達目標の達成度	<p>英語での日常のやり取りができることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスニング力を養い、日常行われる質問を聞き取れることを目標とする。 ・スピーキング力を養い、日常生活レベルの質問対し、応答できるようになることを目標とする。 ・異文化の文化的背景にも親しむ。異文化の多様性に寛容になることを目指す。 						
反省点	<p>概ね達成できた。 リスニング力及びスピーキング力が、少しずつではあるがついてきている。 簡単な英語会話を楽しむようになってきている。 異文化への興味、理解を促進することができた。</p>						
来年度の計画	<p>小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく。また、社会に出ても、もはや国境を越えた人・物の移動によって、生活および働き方自体が大きく変わっていく。そういった流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた会話力(洞察力・判断力)を付けてもらいたい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>概ねいい評価である。月曜日の1限目という授業であるが、どの学生も喜々として参加してくれたことは、教師と学生のコミュニケーションがうまく取れていたと解釈している。様々な文化を英文を読み、会話を展開し、DVDを鑑賞したことで、「わかりやすかった」、「楽しかった」等の学生からの言葉を得ることができ、教師として大変励みになる。</p>						
履修登録者数	20名	定期試験受験者数	18名	合格者数	18名	合格率	100%